



ひ  
び  
き

No. 344 / 2026年 1月27日 発行

(一社) 東京都トラック協会

ロジ研発行

編集人 菅沼 寛二

東京都新宿区四谷3丁目1番8号

TEL. 03-3359-4137

FAX. 03-3359-6020

ロジ研年間統一テーマ：一致団結

# 新年のご挨拶



◆本部長 吉本 商一

[足立支部 八千代運輸(有)]

新年あけましておめでとうございます。昨年も会員の皆様には大変お世話になりました。昨年を振り返りますとまずは謝らなければならぬことがたくさんありました。各委員長に色々と提案をいただいたのにもかかわらず中止をした企画があり、本部長としての力のなさを痛感した次第です。この場を借りて皆さんに深くお詫びさせていただきます。

一期二年という限られた期間ではありましたが先輩たちと若いメンバーとの融合がはかれたらしいなと思い頑張ってきましたが思ったよりハードルは高くなかったなと思うように行かない二年だったのかなと反省しております。気が付けば残り僅かではありますが、企画がいくつも用意することが出来ました。各委員長には仕事の合間に縫って企画していただき感謝しかありません。

今年は改選となります。ロジスティクス研究会が今後も輝き続けるためにどんどん次の世代を入れ活性化を図っていく必要もあるでしょう。そのためにも現状に満足することなく壯士凌雲を心に抱き続け会員の皆様とともに成長していきましょう。

◆副本部長・総務委員長 大島 弥一

[新宿支部 大島運輸(株)]

新年明けましておめでとうございます。昨年もメジャーリーガー大谷選手の活躍そしてワールドシリーズでは山本由伸選手の MVPに選ばれる大活躍でドジャースの連覇という偉業を目の当たりにし、感動を頂きました。今年も間もなく始まる冬季五輪にWBC、更にサッカーワールドカップと日本選手の活躍を期待したいと思います。

さて昨年日本初の女性総理が誕生し、少しずつ日本が良くなっていくような雰囲気が感じられるようになりました。今回の解散総選挙もそのためという事になっていますが、とにかく日本人が日本で暮らしやすくなってほしいと思います。

トラック業界で言えば昨年「坂本新法」と言われるトラック適正化二法が成立し、そろそろ具体策が見えてくるのかなという段階に来ています。更新制にしても次数制限にしても書面化等にても少しでも良くなればありがたいのですが、我々の手間と時間の掛かるだけの法律にならないことを切に願っています。また軽油の暫定税率がいよいよ4月に廃止されます。交付金等どの程度影響のあるものなのか分かりませんが、交付金が年々減額されてきている昨今で、どの程度メリットが残るのか、その中身も変わってくるのではないかと懸念があります。いずれにしてもすべて始まってみると分からぬ令和8年かなと思いますので、ロジ研としては「じっくり見守りながら、言いたいことは言う」というスタンスで行きたいと思います。

最後に今年は改選の年です。本部長始め、正副でも役職定年が多数ありますので、総入れ替えする可能性もあります。新年度も楽しくロジ研の活動をしていきたいと思いますので、新しい方のご紹介や推薦にご協力を願いいたします。

◆副本部長・物流政策委員長 笠原 史久

[多摩支部 (株)NTSロジ]

明けましておめでとうございます。

物流政策委員 多摩支部 笠原史久でございます。

本年も宜しくお願ひ致します。

近年 2024年問題（働き方改革から発端し、輸送能力が約14%不足し、流通が一部止まる）が騒がれ、政府・行政が運送業界の改革に本腰を入れられたことで、協会活動を通じ、業界を良くしていくこう、魅力ある業界にしていくこうと考え、会社経営をされてきた私達にとって大きな追い風が吹いているかと思います。現在は法整備などがされてきておりますが、これからは『良質な事業者』と『悪質な事業者』との判別をされ、社会的なインフラを支えている業界としての自覚と誇りを持って会社経営ができる環境にし、一緒に働いている従業員さんがやりがいを持って仕事ができる業界にして参りましょう！！微力ではありますが、物流政策委員会といたしましても、引き続き関東運輸局 自動車交通部と意見交換が出来る機会を設けて参ります。今年も宜しくお願ひ致します。

◆副本部長・本部連絡委員長 田中 秀明

[練馬支部 東京港運送株]

本部連絡委員の田中です。本部連絡会では本部から会長・副会長をお招きして意見交換や施策提言をするのが役目ですが、皆様ご多忙なためにスケジュール調整をするのが一苦労です。従って開催回数がなかなか増やせないのが悩みではありますが、鋭意企画実行していきたいと思います。

私事ですが今年は年男＆還暦です。「ひのえうま」という迷信により出生数が前後の年と比べて異様に少ないのが 1966 年生まれです。小学校の教科書で見た人口ピラミッドの不自然な凹み、おかげで一目で自分の生まれ年が見つけられたものです。そんな目印の凹みがいつの間にかずいぶんと上の方に移動してました。人生の折り返し地点を通過して、好意的に見積もってもあと 1/3 となった人生。心新たに臨もうと思う一年の計です。

ひのえうまの凹みが頂上に近づいても、異彩を放っていてほしいと願っています。今年のひのえうま生まれは人口ピラミッドにどのような模様を描くのでしょうか？

みなさま本年もどうぞよろしくお願ひいたします。





No. 344 / 2026年 1月27日 発行

(一社) 東京都トラック協会

ロジ研発行

編集人 菅沼 寛二

東京都新宿区四谷3丁目1番8号

T E L. 03-3359-4137

F A X. 03-3359-6020

ロジ研年間統一テーマ：一致団結

◆副本部長・広報委員長 菅沼 寛二

[千代田支部 (株)スガスマトランスポーティ]

はや2月も近付いて参りましたが、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。年初から海外では「ドンロ一主義」とか国内でも動きの活発な丙午の年を迎えておりますが、世の中のめまぐるしい動きにも慌てることなく、これからもロジ研会員相互の交流が活発でありますよう。機関紙「ひびき」もご愛読頂けますように、と取り組んでまいります。そのためにも今後は、より多くの会員の皆さまからの声を広く取り上げさせてください。自薦他薦は問いませんので会員皆さまの活動や関心・ご意見を発信できる場となれたら、と願っております。

私も昔ならば定年を過ぎている齢ですが、あと数回(現在、隔月刊とさせて頂いてます)、発行に携わって参る所存です。本年もご指導ご鞭撻のほど宜しくお願ひ申し上げます。

◆副本部長・研修委員長 前田 圭次郎

[世田谷支部 (株)若運]

ロジ研の皆様あけましておめでとうございます。

研修委員長を仰せ使っております前田でございます。昨年は研修会の開催におきまして皆様方に大変ご尽力いただきまして、心より感謝申し上げます。

今年度の研修委員会は皆様のおかげで無事終了できそうです。来年度は、我々の業界も新しい技術の進歩や市場環境の変化に柔軟に対応できるよう、従来の枠組みにとらわれない新しい学びの場を考えていければと思います。

また来年度は改選期になります。。。長い間支えていただきましてありがとうございます。

皆様にとって、本年がさらなる飛躍と自己研鑽の年となりますよう、ご祈念させていただきます。

本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

◆副本部長・企画委員長 村山 浩一

[新宿支部 (株)村山運輸]

新年あけましておめでとうございます。

本年も宜しくお願ひします。

年始から挨拶回りでお客様に出向くと、今まで以上に物流に関心を持つ経営者が居る事に少し驚きを覚えました。

1/1～施行される取適法しかしり、4月～施行される新物効法が経営者及び担当役員に関心を持たざるをえない状況にさせているのではないか?

“暫定税率が撤廃されると運賃安くなるかな?”と軽くジャブを打ってくるお客様も居ましたが、“車両代、保険代、人件費その他諸々高くなっているので上げて下さい”と返答して帰ってきました(^\_^)

そんな簡単に下げれませんよね(^\_^\n)

そんな年始の出来事でしたが、自分の企画委員長職が任期満了を迎えます。皆様には大変お世話になり感謝しかありません。

企画委員会としては3/11のロジ研チャリティゴルフを残すのみとなりましたが、沢山のご参加をお待ちしております。

2年間本当にありがとうございました。

◆『物流業界のメンタルヘルス対策に

参加して(R7.12.8)』

副本部長・広報委員長 菅沼 寛二

[千代田支部 (株)スガスマトランスポーティ]

さる12月8日の東ト協・第1回経営者セミナー、産業医・長濱さつ絵氏による「物流業界のメンタルヘルス対策」に参加してまいりました。

従業員の問題行動が生じたときに、病気によるものかと疑われるようなときに会社として如何に対応するか、昨今、高まりを見せる話題とあって興味深いテーマでした。メンタルヘルス不調の類型(統合失調症、双極症=躁うつ病、パーソナリティ障害)やさらに神経発達症群(発達障害)についての解説。不調の見極めも容易ではないこと。疾病性と事例性とに区分して専門家と相談・連携することの重要性。具体的な相談窓口の紹介。ストレスチェック・テストのすすめ、など。症例の定義から対応策まで、数字も交えて、てんこ盛りの内容でした。

なかでは、統合失調症(妄想、幻聴、幻覚)はあまり馴染みのない症例と思われましたが、100人にひとり程の発症が、それも10代・20代がほとんど、という説明で意外と感じました。また現在、事業所50人以上の職場で必要とされるストレスチェックが3年以内に50人未満の職場にも義務となることも知りました。

近年、うつ病発症なども身近に感じたことがありましたが、じっさい、傷病手当金の申請事例にうつ病者が増加している(3人にひとりとも)とも聞きます。ベテラン従業員も当然ながら、Z世代とされる従業員が睡眠障害に悩んだり、遅刻するようになった、あるいは元気が無く表情が暗い、など、病気の気配が疑われるときの専門家(産業医、機関)への相談・連携が適切な会社運営に資する、という一貫したメッセージにて、長濱氏の90分の講義は終えられました。

ロジ研行事予定

●2/3(火) 三組織合同セミナー・新年会 (明治記念館)

●2/6(金) 令和7年度第7回正副本部長会議・  
第3回幹事会合同会議

(東京都トラック協会 6階中会議室)

●2/6(金) 令和7年度第2回ロジ研セミナー・懇親会

(東京都トラック協会 4階会議室・ホテルウイング)

●3/3(火) 令和7年度東ト協ロジ研物流政策勉強会・懇親会

(東京都トラック協会 6階研修室・ラ・ボケリア)

●3/11(水) 東ト協ロジ研チャリティゴルフ大会

(メイブルポイントゴルフクラブ)